

米沢興讓館高校SSH通信

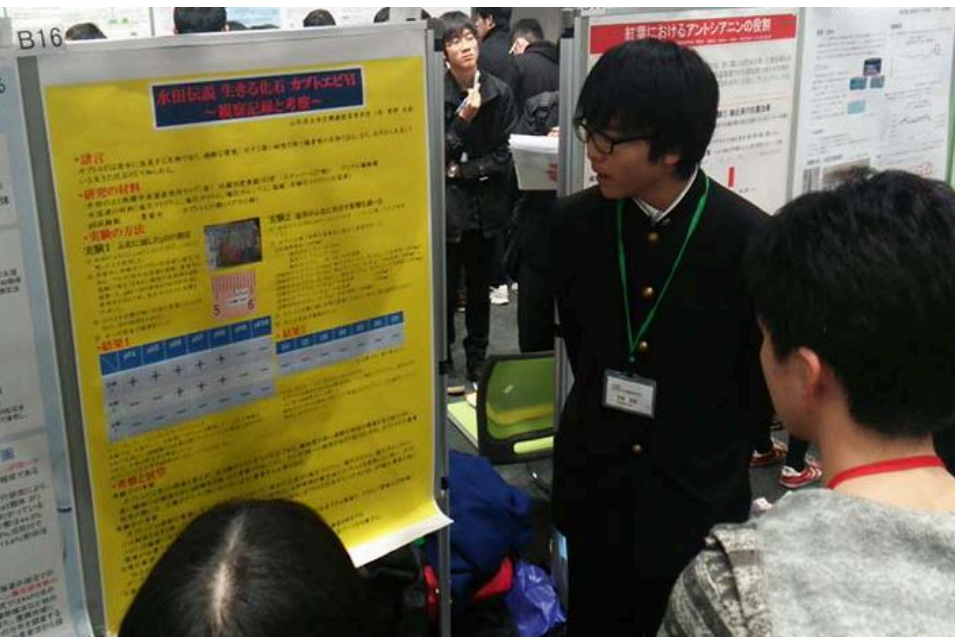
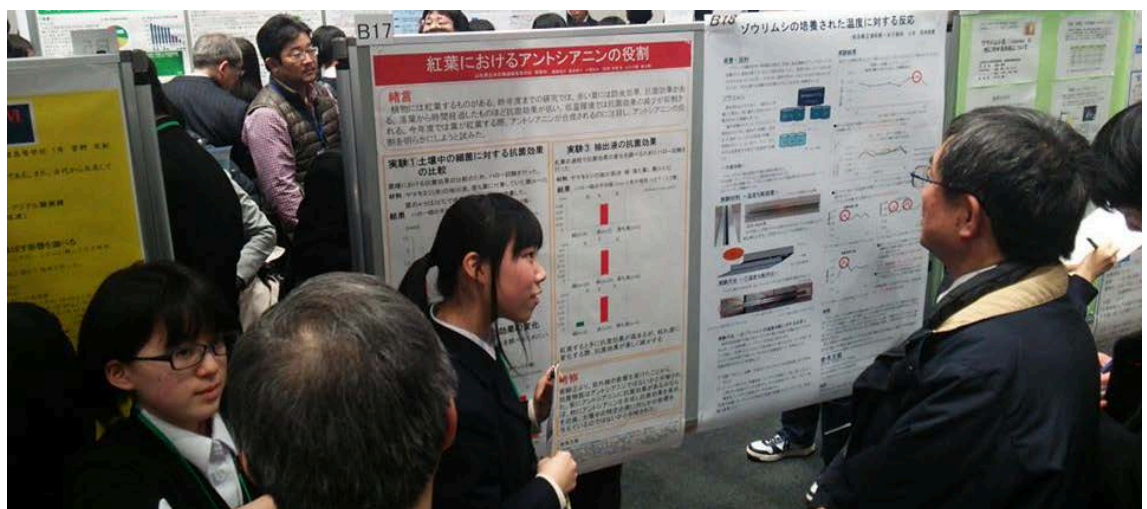
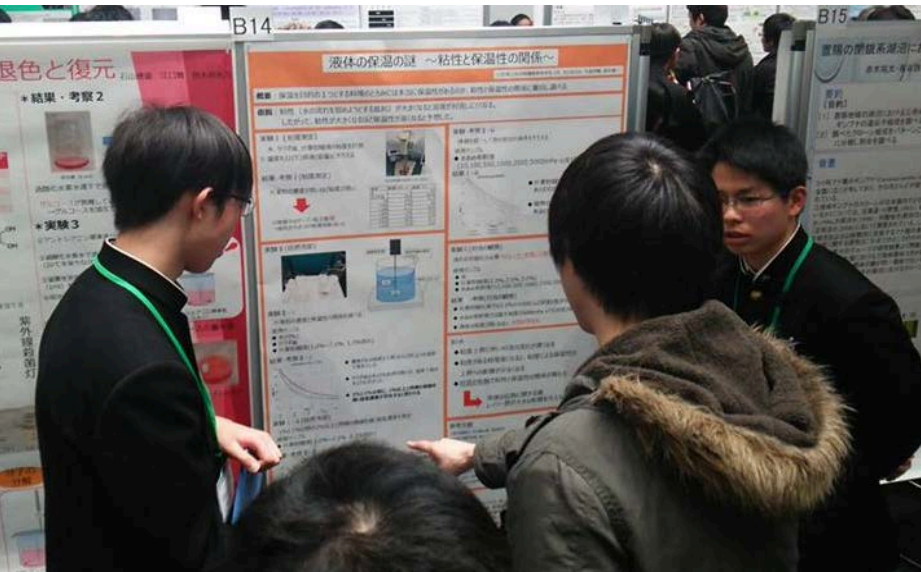
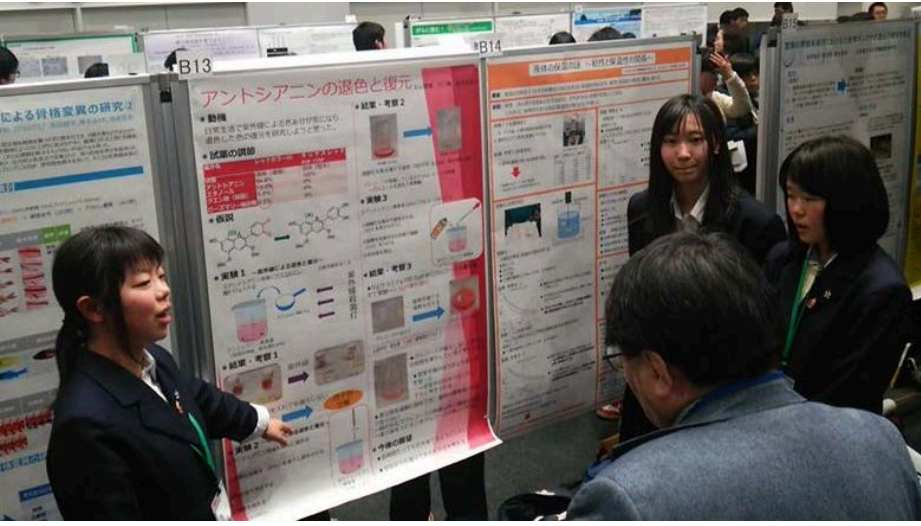
東北大学・飛翔型

「科学者の卵養成講座」

今号は、右記講座の特集を組んだ。

この講座は、「大学での先端研究についての講義や実験・体験、さらには留学生との交流などを通して、研究力・科学力・国際性を身につけ、将来世界で活躍できる人材の育成を行う。高校1・2年生を対象にした本講座では、講義や実験にとどまらず、優秀者には大学での実習・研究や海外研修の機会を提供するなど、創造的科学的な人材の育成を目指すことも特色のひとつである。高校の枠を越え、科学に意欲・関心のある高校生が東北大学に集い、さらにすぐれた成果に対して国際会議での発表や論文発表、各種科学研究コンテストへも挑戦することで、科学者の卵として大きく飛翔する機会を提供する。」(科学者の卵養成講座パンフレット概要より抜粋)というものである。

本校からは、理数科のスーパーサイエンスリサーチ(SSR)での研究グループ、スーパーサイエンスクラブ、有志の申込を経て、選抜されたグループ・個人が発表できる機会を得た。



「お互いを高め合う雰囲気」 2年理数科女子(沖郷中出身)
 「科学者の卵」研究発表会では、自分たちの研究に関する新たな気づきがあっただけでなく、他グループの中身の濃い研究内容や質の高いプレゼンテーション力にとっても刺激を受けました。特に東北大学の協力のもと研究を行ってきた発展コースの発表は、一つ一つのデータの多さと正確さが印象的で、緻密なデータの収集こそがよりよい研究内容に繋がるのだと実感しました。また、英語による口頭発表では限られた時間の中で、話し方や動作に工夫を凝らし伝えたいことを正確に発表している姿や発表内容を理解した鋭い質問が飛び交い、お互いに高め合う雰囲気を肌で感じる事ができました。今回感じた刺激を参加した生徒のみでとどめることなく、学校や地域に発信していき、互いに高め合う雰囲気をつくっていかれると思います。

